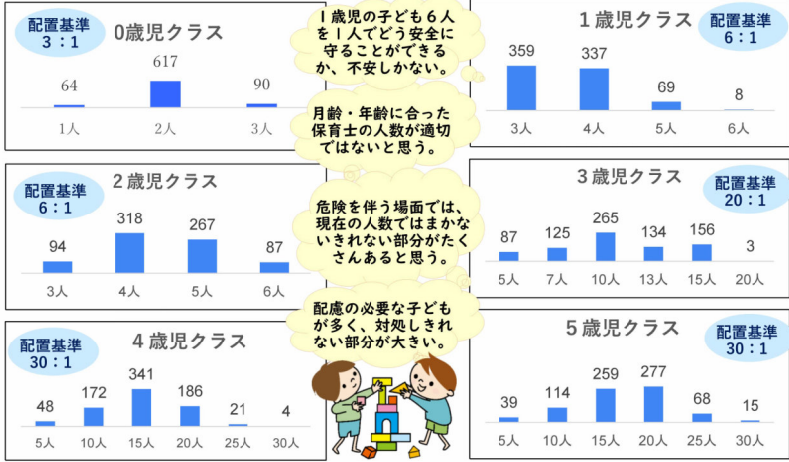


# 子どもたちにもう1人保育士を！

## 保育部会としてアンケート・自治体懇談・議会請願や陳情など改善へとり組み

★保育士一人が受け持つ子どもの人数で適切だと思う人数



(県本部保育士配置基準アンケートより)



昨年12月、全国でとりこまれた「子どもたちにもう1人保育士を！」の運動が実を結び、政府は76年変えてこなかった保育士配置基準を、2024年度から「改正」することを閣議決定しました。この成果は大変うれしいのですが、まだ安心はできません。

政府は「3歳児の保育士配置基準を20:1から15:1に」「4・5歳児の配置基準を30:1から25:1」に改善すると明記しましたが、「当分の

間」の経過措置期間を設け、実施時期は各自治体や施設の判断にまかされています。そのため自治体によっては、今までの状態が続き、実際には何も変わらないままというところもありえます。また、改善が必要な年齢は3〜5歳だけではありません。0歳児、1・2歳児の改善も喫緊の課題です。

愛媛県本部保育部会の「子どもたちにもう1人保育士を」の運動は2022年度から始まりました。愛知の保育運動を学び、保育士配置基準のアンケートにとり組み、結果807人の声を集めました。県本部保育部会は、毎年、各自治体に保育アンケートを実施し、その結果をまとめ、保育担当課と懇談しています。さらにそこで出された意見を、県子育て支援課懇談に結び付けています。

2023年度の自治体訪問時にはこのアンケート結果を報告し、保育士配置の拡充を要請するところから、自治体保育士の非正規率は高く、

今年度は、7月31日〜8月2日の3日間、10自治体の保育担当課との懇談を実施しました。

新たなアンケート項目として「配置基準改善（今後の改善も含む）」に伴う保育士確保「保育のICT化の状況」「ノンコンタクトタイムの確保」を設け、回答に基づき懇談を行いました。

「保育士確保」自治体保育士の非正規率は高く、

今年度の自治体懇談の内容

今年度は、7月31日〜8月2日の3日間、10自治体の保育担当課との懇談を実施しました。

新たなアンケート項目として「配置基準改善（今後の改善も含む）」に伴う保育士確保「保育のICT化の状況」「ノンコンタクトタイムの確保」を設け、回答に基づき懇談を行いました。

「保育士確保」自治体保育士の非正規率は高く、

76年ぶりに保育士配置基準を見直し

昨年12月、全国でとりこまれた「子どもたちにもう1人保育士を！」の運動が実を結び、政府は76年変えてこなかった保育士配置基準を、2024年度から「改正」することを閣議決定しました。この成果は大変うれしいのですが、まだ安心はできません。



第571号

発行所  
自治労連愛媛県本部  
松山市三番町8丁目10-2  
電話(089)931-7312  
FAX(089)933-1699  
jehime@sage.ocn.ne.jp  
発行人 森賀 俊二  
編集人 和氣 伸二  
(組合員の購読料は組合費のなかに入っています)

日程

- 【8月】
  - 24 自治労連事前会議 (茨城)
  - 25 自治労連定期大会 (茨城〜26)
- 【9月】
  - 1 保育部会幹事会
  - 6 医療介護評幹事会 (web)
  - 7 愛媛労連定期大会 (共済会館)
  - 9 宇和島病労組執行委員会
  - 11 松山市職労執行委員会
  - 14 四国B幹事会 (愛媛)
  - 14 県本部拡大執行委員会 (県本部〜15)
  - 21 県医労連定期大会
  - 26 医療・介護・福祉従事者2024秋の国民集会
  - 30 宇和島市職連代表者会議
- 【10月】
  - 1 県自治体退職者の会総会・懇親会 (共済会館)
  - 5 地方自治研究全国集会在愛知 (〜6)
  - 12 県本部拡大執行委員会
  - 19 いのちまもる10・19総行動



西予市立2病院1介護施設に 指定管理者制度導入

西予市職労は8月19日の10年間」の議案が1票差で可決されたことを受け、◎医療介護職員の身分・処遇がどうなるのか、◎市長(市当局)が雇用者責任をどう果たすのか、職員が不安や不信の「怒りの声」をぶつけ交渉しました。

◎来年3月に地方公務員法28条により分限免職処分となる職員が、医療介護職で約400人と総労食・清掃等施設管理従事者で44人(当局提示)あり、分限免職について総務部長は「職員に責任はないことは間違いない」と発言。「責任がない医療介護の職員が大きな不利益を受けなければならないのか到底納得できない」等々、分限免職による生活と将来設計への不安、

答を引き出しました。

【西予】現場の怒りぶつけ、職員を解雇する責任と対応の不誠実さを追及

西予市職労は8月19日の10年間」の議案が1票差で可決されたことを受け、◎医療介護職員の身分・処遇がどうなるのか、◎市長(市当局)が雇用者責任をどう果たすのか、職員が不安や不信の「怒りの声」をぶつけ交渉しました。

◎来年3月に地方公務員法28条により分限免職処分となる職員が、医療介護職で約400人と総労食・清掃等施設管理従事者で44人(当局提示)あり、分限免職について総務部長は「職員に責任はないことは間違いない」と発言。「責任がない医療介護の職員が大きな不利益を受けなければならないのか到底納得できない」等々、分限免職による生活と将来設計への不安、

答を引き出しました。

《2024人事院勧告》

《月例給》すべての号給を引上げ  
初任給引上げ…高卒21,400円・大卒23,800円、平均月収4.4%改善  
《一時金》0.10月分引上げ  
期末手当0.05月、勤勉手当0.05月アップ

《給与制度のアップデート》※来年度実施  
1) 俸給等…初任給・若年層の水準を大幅引き上げ(R6年4月に先行実施)。来年度から新たな給料表を施行。  
2) 地域手当の大きくくり化…愛媛県は支給なし。都道府県単位を基本、中核的な市は個別指定。  
3) 通勤手当等…支給限度額を月15万円に引上げ。交通用具利用者の改善は言及なし。  
4) 扶養手当…R7年度からの2年間で段階的に実施。配偶者に係る手当を廃止(行(一)7級以下職員今年度6,500円→R7年度3,000円→R8年度廃止)、子に係る手当を増額(子1人あたり今年度10,000円→R7年度11,500円→R8年度13,000円)。  
5) ボーナス…成績優秀者への勤勉手当の支給上限を引上げ。  
6) その他…再任用職員の手当支給の拡大(住居手当、特地勤務手当、寒冷地手当等)。

8月8日、人事院は国会と内閣に対し、官民較差2.76%・111.83

円にもとづき国家公務員の本俸(月例給)すべてを号給の引上げ、一時金を支給月数0・10月引き上げる「勧告」を行いました。



《千羽鶴を海外へ送るつどい》

8月7日「千羽鶴を海外へ送るつどい」を開催し23人が参加。はじめに参加者は原爆と戦争の犠牲者に対して黙祷を捧げました。今井実行委員長のあいさつに続いて、「私の被爆体験」について田中英子さん(86歳)が話し、当時はケガの処置も十分できず、火傷の薬もなかったことなどが自身の体験をもつて話さ

### 戦争も核兵器もない世界へ、海外へ折り鶴を贈る

れましました。続いて「今年の平和行進の特徴」とコープえひめ・新婦人・愛媛民医連が平和のとりくみについて報告し記念撮影。今年集まった折り鶴、約17万4千羽を3カ国(アメリカ・スペイン・フィリピン)の7団体に贈りました。今年の分を含めたこれまでの合計は33万国104団体579万5千羽となります。



久万高原町職は8月9日、定期総会を開催しました。中野委員長が報告と提案を行い、経過では「単組パワハラ学習会の実施」「単組要求での休暇等の改善」などを報告。運動方針では要求活動・職場づくり・仲間づくりの3つの原点でとりくむ

【おたより ありがとう】  
 ■南海トラフに備えて物品確認中です。  
 ■気づけば夏が終わりそうですね。海や川へ行きたいですね。  
 ■雨が全く降らない日が続いています。農作物が心配です。  
 ■暑いとホラー映画が見たくなる性分です。昔はTSUTAYAでクソ



《県本部野球大会》

西予	0	0	3	0	0	3
松山	0	4	0	4	2	10

### 猛暑の対戦。粘投、好守、巧打と野球の醍醐味魅せる試合

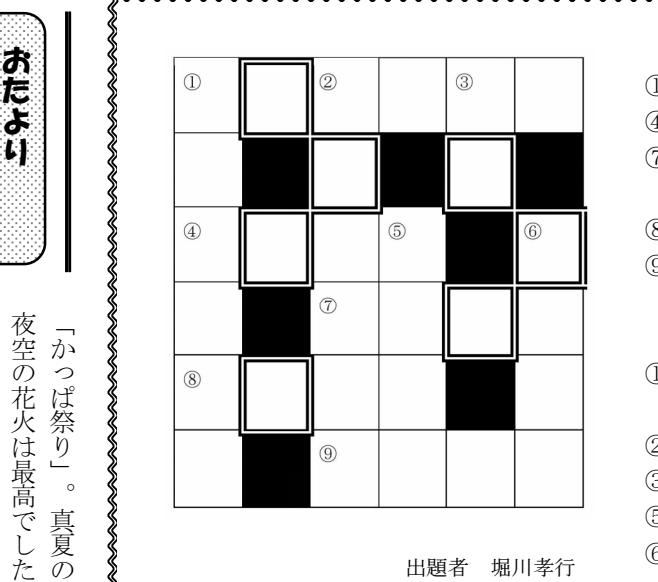
8月3日、県本部2024野球大会2日目内子町「龍王球場」で開催。2度雨天延期が続いた後、猛暑の中、松山市職労チームと西予市職労チームが対戦。2回裏、松山7番打者3点ホームランで4点を先制。3回表、西予は4番打者ヒツト、5番打者ツーパー



【新居浜】

### ギリギリの職場状況。「声」を届け人員不足解消・職場改善に

新居浜市職労は8月9日、定期大会を開催し51人が参加。執行部の報告・提案に対し、職場や部会の「生の声」を5人が発言。どの職場も切実な人員不足や賃金・休暇・雇用の問題を抱えており、調理員部会からは、自校方式の学校給食が今年1学期で長い歴史に幕を閉じたことに関し「これま



出題者 堀川孝行

#### 【ヨコのカギ】

- ①ヒナゲシの別名。夏目漱石の小説名にも
- ④宴会が終わって次の店で
- ⑦梅雨の初めに吹く南風、「黒南風」の読み方は
- ⑧〇〇〇〇⇔形式
- ⑨焼けた跡

#### 【タテのカギ】

- ①標準時の一。国際的標準時に採用されている
- ②すぐれた人格の持ち主
- ③〇〇ル、〇〇じき、かつだん〇〇
- ⑤物に色をつけること
- ⑥(英語) 詩人



### 【伊予】定期大会開催。「今」を变革 意思をつなぎ明るい未来へ

伊予市職労は7月11日、定期大会を開催し30人が参加し、すべての議案を採択しました。県本部森賀委員長が来賓としてあいさつ。議案では、より正確に組合員の声を伝えるために組合員の声や成果について、若手職員との交流機会を増え、親睦が深まった。最後はおなじみの久保執行委員長による「団結ガンバロー」を新執行委員長の吉田委員長に引き継ぎ、大会を締めくくりました。

組合員の勧誘方法の見直しを提案し、賛成多数で承認を得ました。また討論では、青年部から1年間のとりくみや成果について、若手職員の交流機会が増え、親睦が深まった。最後はおなじみの久保執行委員長による「団結ガンバロー」を新執行委員長の吉田委員長に引き継ぎ、大会を締めくくりました。

■569号のパズルの答えは「マカスタネハエヌ」(まかぬ種は生えぬ)でした。正解は11通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを呈いたします。(敬称略)

小林 弘樹(津島吉田)  
 藤井 隆嗣(新居浜)  
 黒川 泰子(新居浜)  
 船上 英子(西予)  
 西原 紀子(新居浜)

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載

【締切り】9月27日【発表】573号(10月号)